

地域課題の解決に向けた取組

日高地域における林業の活性化に向けた取り組みについて

日高北部森林管理署

1 背景と目的

日高北部森林管理署は日高山脈の麓に位置しており、急峻な地形が多く、農地と林地が隣接している箇所が多くあります。そのため、民有林では路網の整備がしづらく、従来から切り捨て間伐が主体となっていたため、搬出間伐が行われてきませんでした。

一方、国有林では列状間伐を主体に搬出間伐を積極的に行ってきたため、豊富な実績があります。



列状間伐実施箇所

更に、ドローンを活用して現況把握等にかかる労力の軽減を図ることができると考えました。

そこで、民有林で搬出間伐を推進してきた日高振興局森林室平取事務所、沙流

川森林組合及び当署の三者連携により、それぞれの役割を分担して、特に、搬出間伐（列状）実績の少ない日高町日高地区を対象に取り組みを実施していくこととしました。

2 これまでの取組

伐採予定の民有林人工林において、林分調査を行い「森林の健康診断書」と併せて、ドローンを活用した現況調査を実施し、3D画像を作成して所有者へ提案を三者で実施しました。

また、国有林で列状間伐を実施した人工林及び実行中の箇所において間伐勉強会を開催することにより、森林所有者が抱いていた列状間伐実施への不安を少しでも払拭するよう取り組みました。

今年は、所有者への戸別訪問を行い、地域の林業が抱えている課題や背景及び目的について理解を得るとともに、国有林野事業実施箇所での見学会を実施しました。また、更なる搬出間伐の推進を目的に、日高振興局森林室平取事務所職員

を講師に民有林勉強会を開催し、課題解決に向けたサポーターチームの充実・強化も図られました。

3 活動の成果

民有林所有者を対象とした勉強会や提案の取り組みを通じて、搬出間伐（搬出）への理解を得ることができ、平成30年11月に平取町内で間伐実行することができました。

また、周辺の民有林所有者へ森林室平取事務所が戸別訪問を実施した結果所有者ら5名の賛同を得ることができ、合計約42ヘクタールを集約して施業を進めることとなりました。このように、搬出間伐を実施することにより、間伐材の販売収入を得ることで収支が改善



丸太の仕訳作業

し、利益を還元できるようになります。

更に、間伐材を山に捨てるのではなく資材として地域に提供することで、林地未利用材の発生を抑えるとともに、地元製材工場への木材の安定供給につながりました。

4 今後の展開

今後も継続して、民有林所有者の気持ちを切らさずに搬出間伐を実施するため、毎年の実行結果等の内容を分析し、戸別訪問等により周知していきます。

また、単年度の取り組みとならないよう、森林管理



戸別訪問で森林の状況を説明

署・森林室平取事務所・森林組合との協力体制を継続するとともに、連携をより一層強めていきます。